

第11章 松山遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の左岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上である。宅地開発されるが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期～後期、飛鳥時代および中近世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷲森遺跡がある。また、西方約350mの比高差9mを持ってそびえる台地の南東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより約100ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は、

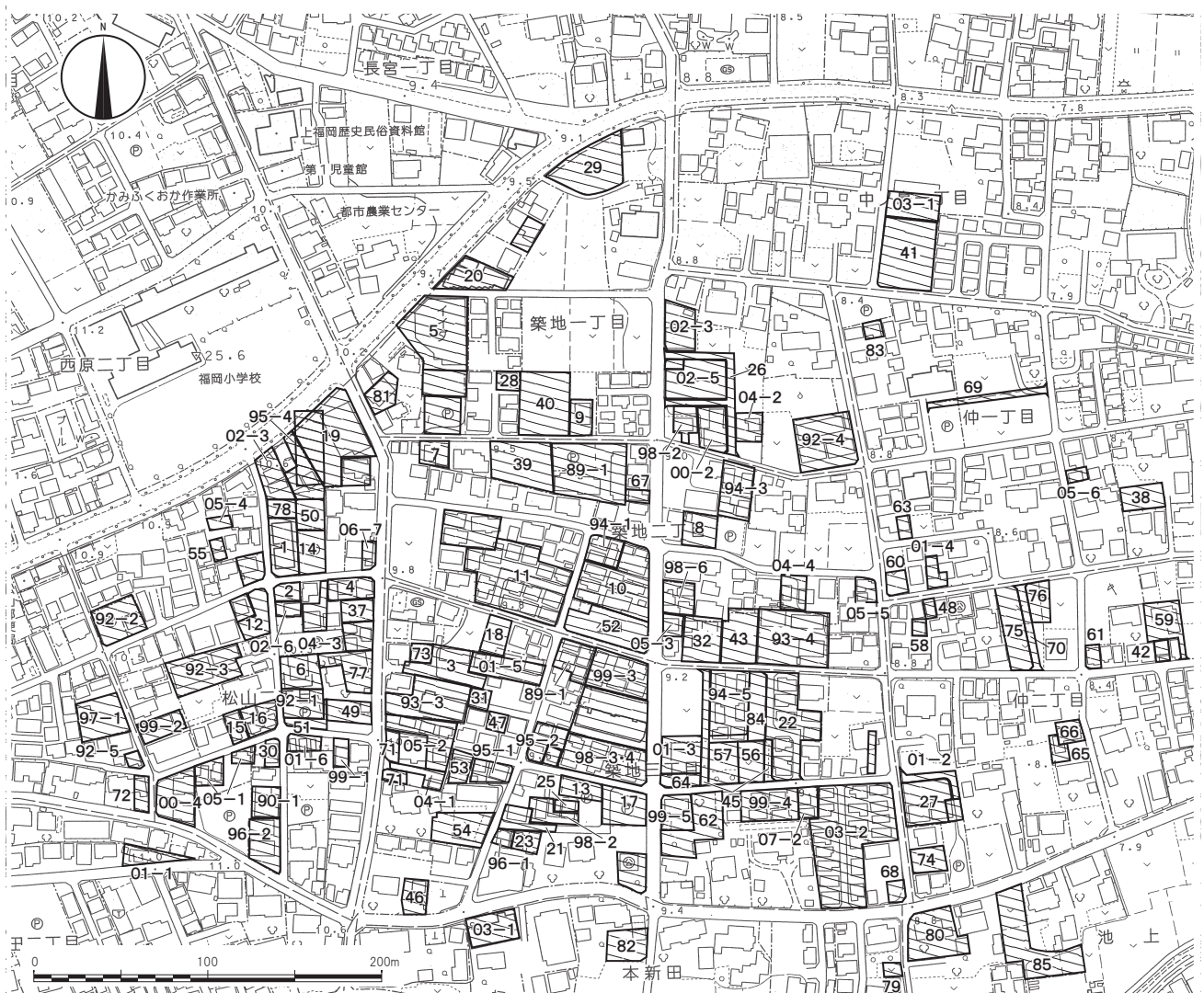
長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中近世以降の溝・井戸跡などである。特に溝、井戸等の中近世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行った。

II 松山遺跡第69地点

(1) 調査の概要

調査は市道築造に伴うもので、ふじみ野市長より2013年3月25日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置するため、関係課と協議の結果、試掘調査を実施した。

試掘調査は2013年9月10日と11日に行った。幅約1mと1.5mのトレンチ合わせて3本を設定し、



第23図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第16表 松山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
05 試(1)	松山 2-2-4 の一部	(2005.4.6~7)	313	土地分譲	遺構遺物なし	市内 1
05 試(2)	築地 3-1-32・34・43	(2005.4.19~21)	549	土地分譲	遺構遺物なし	市内 1
05 試(3)	築地 2-5-32	(2005.4.28)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
31 次	築地 3-1-69	2005.6.14~23(2005.6.9~13)	120	個人住宅	古墳住居跡 1	市内 1
05 試(8)	築地 2-5-3	(2005.8.30~9.13)	567	宅地造成	平安住居跡 1	市内 1
32 次	築地 2-5-3 の一部	(2005.8.30~9.7)9.8~13	132	個人住宅	平安住居跡 2	市内 1
05 試(5)	築地 2-5-36	(2005.10.31)	125	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
05 試(4)	松山 2-4-23	(2005.10.20~21)	161	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
05 試(6)	仲 1-4-26	(2005.11.14)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
05 試(7)	松山 2-5-21	(2006.2.28)	100	個人住宅	遺構遺物なし	市内 2
37	松山 2-6-10・13	(2006.4.13)	228	個人住宅	遺構遺物なし	市内 3
38	仲 1-4-3・9・12・13・24	(2006.5.29)	2,176	宅地造成	遺構遺物なし	市内 3
39	築地 2-3-10	(2007.1.10~20)	937	宅地造成	遺構遺物なし	市内 3
40	築地 1-1-5	(2007.2.2~8)2.21~3.9	1,047	宅地造成	奈良住居跡 1、中世遺構検出	市内 3
41	中ノ島 1-2-5	(2007.2.7~9)2.21~3.5	1,281	宅地造成	中世遺構遺物検出	市内 3
42	仲 2-3-15	(2007.2.13)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内 3
43	築地 2-5-2	(2007.4.11~24)	668	分譲住宅	堀跡 1、土坑 1、旧石器ナイフ 1 点	市内 4
44	築地 3-2-10・14	(2008.6.9~11)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内 6
45	築地 3-4-7 の一部外	(2008.9.4~30)10.1~23	390	道路(上下水道)	奈良・平安時代竪穴住居跡 2、掘立柱建物跡 2、竪穴状遺構 1、時期不明の溝 10、土坑、ピット	市内 6
46	築地 3-1-33・35 の一部	(2009.2.17)	309	個人住宅	遺構遺物なし	市内 6
47	築地 3-1-52	(2009.5.11・12)	121	個人住宅	ピット	市内 8
48	仲 2-2-34	(2009.7.1)	67	個人住宅	遺構遺物なし	市内 8
49	松山 2-6-1・14・22 の一部	(2009.10.17~22)10.27~11.18	449	宅地造成	平安時代竪穴住居跡 1(住居内鍛冶炉検出)、土坑 1、溝 1、ピット 1	市内 8
50	松山 2-5-3・17	(2009.11.27~12.1)	797	分譲住宅	溝 1、ピット 7	市内 8
51	松山 2-6-22・23・28 の一部	(2010.5.10~13)	360	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 10
52	築地 2-2-1	(2010.8.26~9.3)	694	分譲住宅	溝 1、落とし穴 1、工事立会	市内 10
53	築地 3-1-11	(2010.9.10~21)	205	個人住宅	近代以降の溝 3、アナグラ 1、慎重工事	市内 10
54	築地 3-1-6・76~83	(2010.9.21~10.1)10.4~11.5	540	宅地造成	奈良・平安住居跡 3 確認、西側 1 の住居は盛土保存、他 2 は本調査	市内 9
55	松山 2-4-24 の一部	(2011.1.17)1.18~31	226	個人住宅	奈良平安時代の住居跡 1、掘立柱建物跡 1、本調査	市内 10
56	築地 3-4-7・8 の一部	(2011.4.4~14)4.11~15	483	共同住宅	奈良平安時代掘立柱建物跡 2 他、本調査(一部工事立会)	市内 11
57	築地 3-4-47	(2011.4.4~15)	241	分譲住宅	隣接する 45 地点から続く H34 号住居跡と溝、遺物なし	市内 14
58	仲 2-2-31	(2011.6.6~8)6.14	115	個人住宅	井戸 1、溝 1、ピット 1、本調査	市内 14
59	仲 2-3-6・9	(2011.8.8・9)8.10・11	560	個人住宅	土坑 2、溝 3、縄文土器、須恵器、本調査	市内 14
60	仲 1-1-15	(2012.3.26・27)	165	個人住宅	堀跡 1、溝 1、陶磁器、焙烙、工事立会	市内 14
61	仲 2-3-3	(2012.4.16~19)	113	個人住宅	溝 1、土坑 3、陶磁器	市内 15
62	築地 3-5-11・14・19	(2012.6.11~21)7.23~8.1	842	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、奈良平安時代住居跡 1、溝 6、縄文土器、銭貨、他	市内 12
63	仲 1-1-55・56・57	(2012.6.5)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
64	築地 3-4-9	(2012.6.7~15)	314	分譲住宅	溝 4、近世の土坑、陶磁器	市内 15
65	仲 2-1-25・36	(2013.2.13~18)2.19~3.21	630	物置	奈良平安住居跡 2、掘立柱建物跡 3、土坑 6、溝 6、須恵器、旧石器	市内 15
66	仲 2-1-53・54		179	個人住宅		市内 15
67	築地 3-3-13	(2013.2.19)	92	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
68	築地 3-5-1	(2013.3.7・8)	166	個人住宅	井戸 1、土坑 1、ピット 4、須恵器、土師器等	市内 15
69	仲 1-51・53・55	(2013.9.10・11)9.12~17	298	道路築造	縄文時代集石土坑 1、溝 1	市内 18
70	仲 2-2-39・41	(2013.4.11~16)4.17~23	220	道路	奈良平安住居跡 1、中世以降井戸 1、集石土坑 1、溝 2、須恵器、土師器、土錘、陶磁器	市内 18
71	築地 3-1-16・32・34	(2013.4.30~5.1)	240	分譲住宅	ピット 1、古銭、陶器片 1	市内 18
72	松山 1-4-1	(2013.5.24)	199	個人住宅	遺構遺物なし	市内 18
73	築地 3-1-56	(2013.8.19)8.20	165	個人住宅	平安時代住居跡 1、須恵器	市内 18
74	仲 2-1-37	(2013.12.24~26)	280	分譲住宅	井戸 1、集石土坑 1、溝 2、土坑 1、陶磁器	市内 18
75	仲 2-2-2・4	(2014.1.14~20)8.5~11	606	分譲住宅	平安住居跡 1、溝 3、須恵器、土師器	市内 18
76	仲 2-2-48	(2014.1.22~28)9.26~10.2	120	個人住宅	土坑 1、井戸 1、溝 1、土器	市内 18
	仲 2-2-37	(2014.1.22~28)11.12~17	120	個人住宅	古代住居跡 1、土師器	市内 18
	仲 2-2-37	(2014.1.22~28)	362	造成工事	平安時代住居跡 1、井戸 2、溝 2、土坑 3、土師器、須恵器、中世陶器	市内 18
77	松山 2-6-2・3・12 の各一部	(2014.3.3~12)3.13~27	493	個人住宅	平安時代住居跡 1、土坑 3、土師器、須恵器	市内 18
78	松山 2-5-5	(2013.5.22)	242	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
79	本新田 395-1 の一部	(2014.8.5)	153	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
80	池上 372	(2015.3.12)	1,183	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
81	築地 1-1-12	(2015.3.23)	247	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
82	本新田 411 の一部	(2015.7.30・31)	194	個人住宅	溝 1、遺物なし	未報告
83	仲 1-2-22	(2015.8.31)	98	分譲住宅	溝 1、遺物なし	未報告
84	築地 3-4-13	(2015.9.15・16)	455	宅地造成	平安時代住居跡 1、井戸 1、土師器	未報告
85	池上 362-1 の一部、364・365・366 の一部	(2015.10.1~19)10.20~26	1,244	分譲住宅	古代時代住居跡 2、屋外炉 1、溝 1、土師器、陶磁器、石製品	未報告



第24図 松山遺跡遺構分布図 (1/3,000)

重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、縄文時代とみられる集石土坑1基を確認した。遺跡確認面までの深さは約60～70cmであり、遺構への影響が避けられないため、本調査を実施した。

本調査は試掘調査に引き続き12日～17日まで行った。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。遺構と遺物は、次のとおりである。

(2) 遺構と遺物

【集石土坑】 調査区の西部に位置し、土坑の平面形

態は円形を呈する。規模は確認面径84×76cm、底径47×46cm、深さ23cmである。礫は土坑内から密に出土する。出土礫の詳細は第18表のとおりである。

【溝】 調査区の西部に位置し、調査区に沿って東西方向に伸びるが、北側の立ち上がりは未確認である。南側の立ち上がりは緩やかである。上幅70cm以上、下幅25cm以上で深さ32.9cmである。近世以降の時期で土地境の溝の可能性はある。

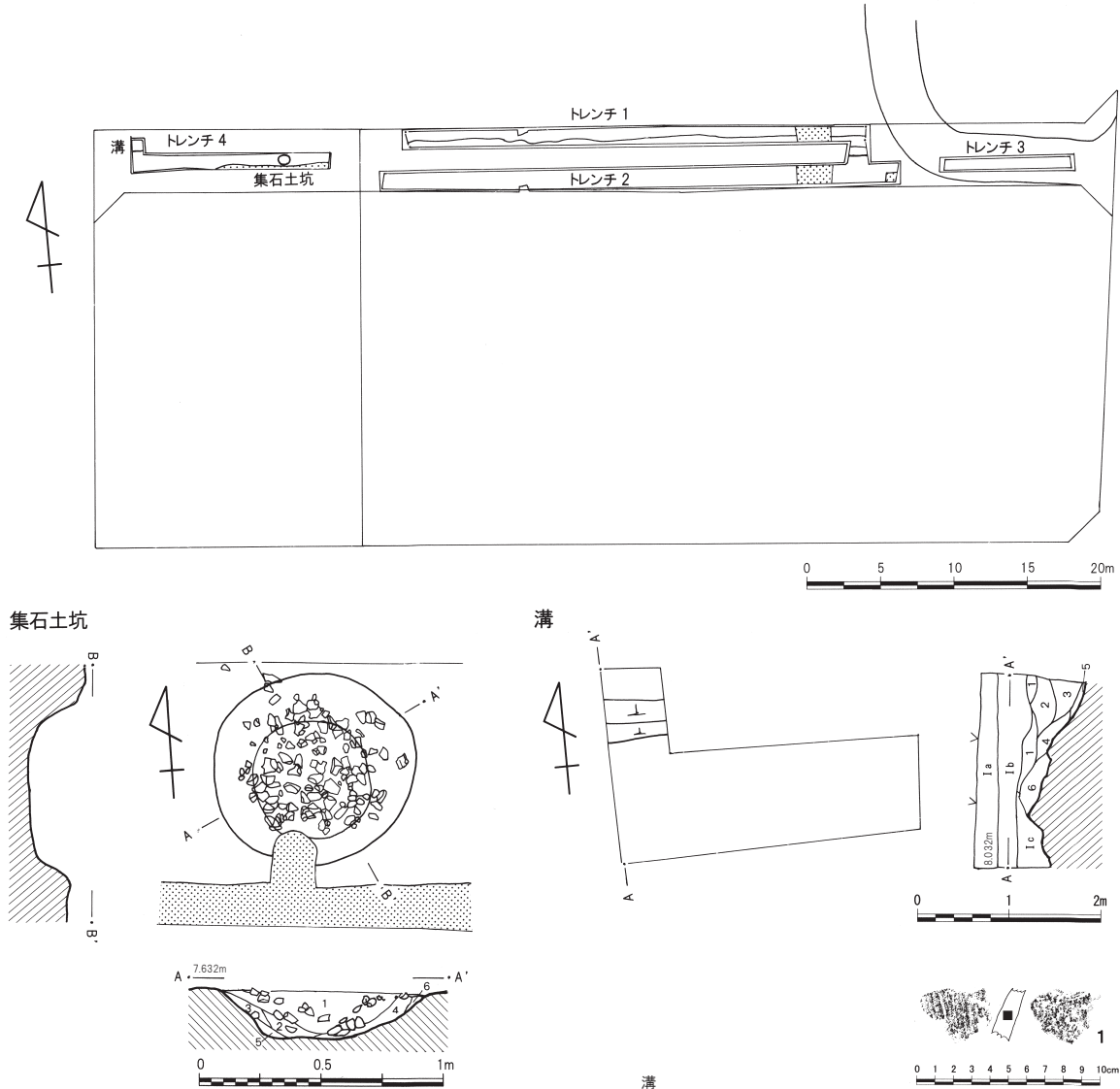
【遺物】 (第25図1) 1は表土層出土の縄文時代早期の土器で、胎土に繊維を含み外面に条痕文を施す。

第17表 松山遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居番号	調査年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉 カマドK	設置壁	カマド 規模cm	周溝	主軸方位	時期	備考	文献
1	1978	第1次1号住居	完掘	正方形	390×380	K	東	110×75	○		国分前半		埋蔵文化財の調査I
2	"	第1次2号住居	完掘	台形	360×320	K	東	120×85	○		国分前半		埋蔵文化財の調査I
3	1979	第2次3号住居	2/3	(方形)	350×10	K	東		一部		国分後半		埋蔵文化財の調査II
4	"	第3次4号住居	完掘	方形	530×475	K	北	200×100	○	N-14-E	国分後半		埋蔵文化財の調査II
5	1991	第10次5号住居	完掘	長方形	230×350	K	北→東		○		9c2半期		埋蔵文化財の調査14
6	"	第10次6号住居	2/3	方形	340×300	K	東		○		9c2半期		埋蔵文化財の調査14
7	"	第11次7号住居	完掘	正方形	400×400						8c4半期		埋蔵文化財の調査14
8	1992	第13次8号住居	3/4	(方形)	400×					N-10-E	8c3半期		埋蔵文化財の調査15
9	1993	第15次9号住居	完掘		A440×350、 B420×310、 C260×300	K	東→北	A210×210、 B210×210、 C80×65	○		9c1半期	鉄鉢型須恵器出土	埋蔵文化財の調査16
10	"	第16次10号住居	1/3	正方形	560×560	K	北	130×80	○		8c4半期		埋蔵文化財の調査16
11	"	第17次11号住居	完掘	方形	600×600	K	北		○	最大住居	7c4半期	黒色土師器出土	埋蔵文化財の調査16
12	"	第18次12号住居	完掘	方形	400×320	K	北		(○)		8c4半期		埋蔵文化財の調査16と市史
13	1994	第19次13号住居	完掘	長方形	450×300	K	北		○	N-5-E	9c1半期		松山遺跡第19次調査概要
14	"	第19次14号住居	完掘	長方形	450×500	K	東→北		○	N-5-E	9c1半期	土錘出土	松山遺跡第19次調査概要
15	"	第20次15号住居	完掘	長方形	370×470	K	北西	70×70	○		7c4半期		松山遺跡第20次の調査
16	1995	7年試掘(2)16号住居								N-20-W	6c		未報告
17	"	第21次17号住居	完掘	長方形	480×400	K	北		○		7c4半期		埋蔵文化財の調査19
18	1997	第22次18号住居	完掘	長方形	240×460	K	東	90×60	○	N-50-E	8c末		埋蔵文化財の調査20
	"	第22次1号掘立	部分	長方形	東西5間南北3間						8c末～9c初		埋蔵文化財の調査20
	"	第22次2号掘立	部分	長方形	東西2間南北2間						8c末～9c初		埋蔵文化財の調査20
	"	第22次3号掘立	部分	長方形	(東西2間)南北3間						8c末～9c初		埋蔵文化財の調査20
19	1998	第23次19号住居	4/5	長方形	260×290				○	N-30-W	8c後半	土錘6点出土	埋蔵文化財の調査21
20	1999	第25次20号住居									8c初頭	暗紋土師器	市史通史編
21	"	第25次21号住居									8c初頭		未報告
22	2000	第26次22号住居	完掘		360×	K	北		○		7c後半	14年度完掘、 焼失住居	埋蔵文化財の調査23
23	"	第27次23号住居	完掘	台形	600×720	K	北		○		8c半ば		埋蔵文化財の調査23
24	2001	第28次24号住居	1/2		340×	K	北西		○		8c中葉		埋蔵文化財の調査24
25	2000	12年度試掘5	2/3										埋蔵文化財の調査23
26	2002	第29次26号住居	完掘	長方形	420×360	K	北		○		7c後半		埋蔵文化財の調査25
27	2003	15年度試掘27号住居	一部		(盛土保存)							プランのみ確認	埋蔵文化財の調査26
28	"	15年度試掘28号住居	1/2		(盛土保存)							プランのみ確認	埋蔵文化財の調査26
29	"	第30次29号住居	完掘	長方形	360×420	K	東		○		9c前半		埋蔵文化財の調査26
30	2005	第31次30号住居	完掘	長方形	360×600	K	北		○			土錘出土	市内遺跡群1
31	"	第32次31号住居	完掘	長方形	380×330×	K	東		○	S-65-E	9c中葉		市内遺跡群1
32	"	第32次32号住居	1/2	長方形	東西4m×南北 3m以上	K	東		○	S-85-E			市内遺跡群1
33	2006	40地点H33号住居	完掘	方形	455×420	K	北	98×154	○	N-5-E	8c後半		市内遺跡群3
34	2008	45地点H34号住居	完掘	方形	364×361	K	東	122×125	○	N-96-E			市内遺跡群6
35	2008	45地点H35号住居	1/2	(方形)	504×(222)				○				市内遺跡群6
36	2009	49地点H36号住居	完掘	方形	280×290	K	東	105×100	○	N-92-E	8c後半	鍛冶炉1	市内遺跡群7
37	2010	54地点H37号住居	完掘	方形	434×524	K	北	70×86	○	N-13-E	8c1四半期		市内遺跡群9
38	2010	54地点H38号住居	一部	方形	(440)×468	K	東	95	○	N-107-E	8c1四半期	プラン確認	市内遺跡群9
39	2010	54地点H39号住居	完掘	方形	336×459	K	北	79×101	○	N-4-E	8c1四半期		市内遺跡群9
40	2011	55地点H40号住居	3/4	(方形)	(300)×(320)	K	東	95×123	○	N-90-E	9c前半		市内遺跡群10
41	2012	62地点H41号住居	3/4	(方形)	410×(300)	K	北			N-18-E			市内遺跡群12
42	2013	65・66地点H42号住居		方形	460×440	K	東	110×106	○	N-62-E	9c前半		市内遺跡群15
43	2013	66地点H43A号住居		方形	470×470	-	-	-	-	N-66-E	9c中葉前後以降		市内遺跡群15
	2013	66地点H43B号住居		方形	700×700	K	東		○	N-66-E	9c中葉前後以降		市内遺跡群15
44	2013	70・76地点H44号住居		(長方形)	(420)×340	K	北	80×65	○		8c前半		市内遺跡群18
45	2013	73地点H45号住居		不明	(238×125)				○		8c中～後半		市内遺跡群18
46	2013	75地点H46号住居		不明	(320×145)				○		8c前半～中		市内遺跡群18
47	2013	77地点H47号住居		不明	410×(95)	K	北	156×135	○		8c後半～9c初		市内遺跡群18

第18表 松山遺跡第69地点集石土坑・出土礫観察表 (単位 cm・g)

平面形態	確認面径	底径	深さ	備考	総点数	総重量	平均重量	破損数	完形数	焼成数	未焼成数	タール・煤付着数	タール・煤未付着数
円形	84 × 76	47 × 76	23.0		197	10,910.26	55.38	5(2.54%)	192(97.46)	111(56.35%)	86(43.65%)	66(33.50%)	131(66.50%)



集石土坑

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、1mm以下焼土・3mm以下炭化物少し含む、焼石は大半が割れたもの
2. 黒色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒・焼土やや多く、5mm以下炭化物多く含む
3. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、2mm以下焼土・5mm以下炭化物やや多く含む
4. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、3層に似る、シミ状に黒褐色土・ローム土、3mm以下焼土・5mm以下炭化物やや多く含む
5. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、硬化している、2mm以下焼土多く、5mm以下炭化物やや多く含む
6. 赤褐色土 締り強、粘性有、硬化している、焼土主体、縦位に1cm厚黒褐色土を挟む

溝

- I a. 砂礫層 上半は灰色碎石層、下半は黄褐色土ベースに円礫多く含む
 I b. 黄灰色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む
 I c. 黄褐色土 締り有、粘性有、黒褐色土主体にローム土・5cm以下ロームブロック多く含む
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、やや灰色味がある、2cm以下ロームブロック・粒・3cm以下礫少し含む
 2. 暗黄灰色土 締り有、粘性有、黒褐色土主体、3mm以下ローム粒やや多く含む
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む
 4. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、ソフト質の5mm以下ローム粒やや多く含む
 5. 黄褐色土 締り強、粘性有、暗黄灰色土主体に1cm以下ソフト質ロームブロック多く含む
 6. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒少し、2mm以下焼土僅かに含む

第25図 松山遺跡第69地点遺構配置図 (1/500)、集石土坑 (1/30)、溝 (1/80)、出土遺物 (1/4)



鶴ヶ舞遺跡第20地点調査風景



鶴ヶ舞遺跡第20地点トレンチ1



鶴ヶ舞遺跡第21地点調査風景



鶴ヶ舞遺跡第21地点トレンチ1



鶴ヶ舞遺跡第25地点(旧鶴ヶ舞遺跡第18地点)調査風景



鶴ヶ舞遺跡第25地点(旧鶴ヶ舞遺跡第18地点)トレンチ



松山遺跡第69地点調査風景



松山遺跡第69地点調査風景



松山遺跡第 69 地点トレンチ 1



松山遺跡第 69 地点トレンチ 1 土層



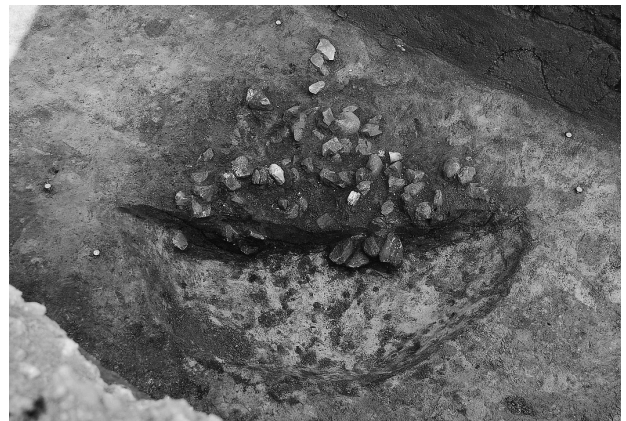
松山遺跡第 69 地点トレンチ 2



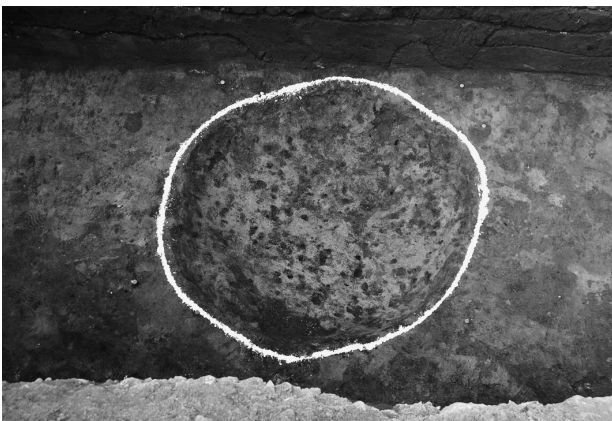
松山遺跡第 69 地点溝



松山遺跡第 69 地点トレンチ 4



松山遺跡第 69 地点集石土坑土層



松山遺跡第 69 地点集石土坑完掘



松山遺跡第 69 地点出土遺物